

## 日本(奄美諸島)初記録のタナバタメギス科魚類

林 公 義\*

First record of *Pseudoplesiops knighti* (Pisces: Pseudoplesiopidae)  
from Amami Islands, southern Japan

HAYASHI M.\*

During the research from 1991 to 1993, unrecorded species of *Pseudoplesiops knighti* is collected from the Amami Islands, southern Japan. Recently the genus *Pseudoplesiops* was known only one specimen of *P. rosae* from Yaeyama Islands, southern Japan. In the present paper, *P. knighti* is recorded as new to Japan. This species has been reported from the Great Barrier Reef in Australia, Meranesia and Indonesia. *P. knighti* was found around shelves and holes of living massive corals, at the depth of 7-30m. This species distinguished from *P. rosae* in Japan, by having widely eye diameter (10.6-12.1%; a ratio of eye diameter to standard length), shorter pelvic fins, dorsal, anal and caudal fins with yellowish color. The sexual dimorphism of *P. knighti* was not seen in body and fins coloration, shapes on seven specimens.

### はじめに

オーストラリアのグレートバリアリーフの Ribbon Reef を模式産地として, ALLEN (1987) の記載した *Pseudoplesiops knighti* が奄美諸島海域から採集された。本種の分布域は, 原記載ではオーストラリアの東海岸域とメラネシア海域(パプアニューギニアとソロモン諸島)が知られ, 西部太平洋海域からは RANDALL *et al.* (1990) によるインドネシアからの記載があるにすぎない。日本産のタナバタメギス科(Pseudoplesiopidae)魚類は, これまでにタナバタメギス *P. rosae* SCHULTZ 1 種類が知られていた(岸本, 1988)。*P. knighti* は日本から未記録であるのでオオメタナバタメギスという新称をあたえ, 本報で外部形態や生息状況, 体色についての知見を報告する。

本種をふくむタナバタメギス科(Pseudoplesiopidae)の扱いについては備考欄に詳述した。記載と計測部位については ALLEN (1987) を参考とした。計数値は10倍希

釈ホルマリン水溶液に保存した資料によるもので, 標本は, 横須賀市自然博物館(YCM-P)に保管した。奄美大島での調査・採集において援助いただいた相模湾海洋生物研究会の諸氏, 瀬戸内の海を守る会々長横山貞夫氏に対し深謝する。

### *Pseudoplesiops knighti* ALLEN, 1987 (新称: オオメタナバタメギス・第 1a, b 図)

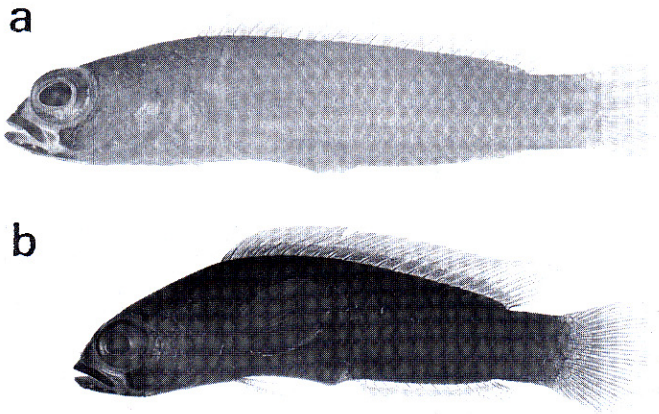
*Pseudoplesiops knighti* ALLEN, 1987: 253, fig.3 (type from Ribbon Reef, Great Barrier Reef, Queensland, Australia); RANDALL *et al.*, 1990: 130, (Indonesia, Melanesia, northern Australia).

供試標本: YCM-P26400 (1 個体, 体長 16.3mm, 以下同様), YCM-P28293 (1, 26.1mm) 1991.8.29, 奄美大島, 瀬戸内町崎ノ目; YCM-P29178 (1, 30.9mm), YCM-P29179 (1, 26.6mm), YCM-P29185 (1, 30.9mm) 1993.8.31, 奄美大島, 瀬戸内町西古見; YCM-P29119 (1, 30.5mm), YCM-P29187 (1, 29.1mm) 1993.8.30, 加計

\* 横須賀市自然博物館 Yokosuka City Museum, Yokosuka 238.

原稿受付 1993年9月30日 横須賀市博物館業績 第447号

キーワード: 初記録, 分布, 日本, タナバタメギス科 Key words: new record, distribution, Japan, Pseudoplesiopidae



第1図 オオメタナバタメギス *Pseudopleysiops knighti* a. YCM-P28293, 体長26.1mm, 奄美大島崎ノ目; b. YCM-P29179, 体長26.6mm, 奄美大島西古見.

呂麻島, 瀬戸内町浜崎.

**記 載:** 背鰭 I, 23 (原記載による数値: I, 23); 臀鰭 I, 14 (I-II, 14); 胸鰭 16-17 (17); 腹鰭 I, 4 (I, 4); 尾鰭分枝軟条 (上葉+下葉)  $7+6-7=13-14$  ( $7+6-7=13-14$ ); 第1鰓弓鰓耙数  $4-5+10=14-15$  ( $3-5+9-10=12-15$ ); 縦列鱗数 34 (32-35); 横列鱗数 12-13 (11-12); 背鰭前部鱗数 10 (9-10); 有孔側線鱗数 1 (1); 前鰓蓋部横列鱗数 2-3 (2-3); 背鰭前部担鰭骨数 3; 脊椎骨 (腹椎骨+尾椎骨) 数  $10+16=26$ .

全長 120.3-121.6% (体長に対する百分率, 以下同様); 頭長 33.0-35.1 (原記載による数値: 30.6-33.3); 眼径 10.6-12.1 (11.9-12.7); 吻長 6.0-6.9 (5.1-6.1); 両眼間隔 3.6-4.0; 上顎長 11.1-11.3; 体高 (背鰭始部) 24.3-25.1 (25.6-29.7); 尾柄高 13.6-15.3 (13.4-17.0); 尾柄長 9.8-11.2; 吻端-背鰭基始部 36.4-38.0 (34.5-36.7); 背鰭基始部-臀鰭基始部 37.3-38.3; 背鰭基底長 54.9-56.4 (54.7-59.4); 臀鰭基底長 26.2-27.5 (24.9-28.4); 吻端-臀鰭基始部 60.0-62.2; 吻端-胸鰭基部 33.3-34.4; 胸鰭最長軟条長 20.1-21.8 (20.5-22.6); 吻端-腹鰭基始部 31.1-33.1; 腹鰭長 24.7-28.5 (26.7-30.5).

体は細長く小型で, 体前部から尾柄部は側扁する。頭は背鰭始部から吻部にかけて緩やかに曲がる。下顎と上顎の先端は同位置にある。主上顎骨の後端は瞳孔中央からわずかに後方に達する。瞳孔は西洋梨型で前方に尖る。眼が著しく大きく, 頭長の45~48%を占める。頭部と体前部の鱗は円鱗で, 後方はわずかに楕鱗がある。背鰭前部鱗は両眼の後縁付近までである。頭部感覚管の開孔は大きく明瞭で, 主鰓蓋骨上方, 前鰓蓋骨側縁, 眼上および

眼下骨の周縁, 吻部と下顎にある。第1鰓弓の鰓耙はよく発達する。前鰓蓋骨と主鰓蓋骨の側縁は円滑。両顎歯は微小な犬歯状歯が1~2列の歯帯を形成する。鋤骨と口蓋骨には小歯がある。前鼻孔は短い管状。体高は背鰭起始部付近が最も高い。列状の側線鱗はなく, 鰓孔上端に1有孔側線鱗があるのみ。背鰭と臀鰭棘は1棘で, 共に痕跡的なので外観からはみえないが軟X線撮影で確認できた。背鰭の前方15~16軟条と臀鰭の前方6~7軟条は不分枝で, 残りの後方背鰭軟条と臀鰭軟条は全て分枝する。腹鰭の先端は肛門に達するかわずかに越える。尾柄長 (体長の約16.2%) は尾柄高 (体長の約15.2%) よりもわずかに長い。尾鰭は截形で両角はわずかに丸い。

**生時の体色:** 体色はわずかに個体差があるが, 一般に体全体は暗赤褐色または暗赤緑褐色で, 頭部は赤黄褐色味が強い。頭部の中でも吻端, 上・下顎骨, 頭頂部, 前鰓蓋骨下方前部などは部分的に色素が濃い (暗褐色) ので斑紋状に見える。各鰭は透明な鰭膜の周縁部を除き全体に淡黄褐色。体長の小さい個体 (YCM-P29179, 第1b図) では背鰭と臀鰭の基底部に1暗黄褐色縦線が明瞭。尾鰭基底付近は他の各鰭に較べて黄色が強い。体側の各鱗の中央は外縁よりも淡色で, 縦帯状の点列をなす。眼の外周は細い紫青色線で, また黒色の西洋梨型の瞳も紫青色環で縁取られる。虹彩は橙赤色でよく目立つ。胸鰭と腹鰭はほとんど透明か基部がわずかに黄色。前鼻管は淡赤色。

**標本の体色:** 体全体が淡褐色で, 各鰭の色素や色斑は消失する。頭部の吻端, 上・下顎骨, 頭頂部, 前鰓蓋骨下方前部などは, 生時と同様に部分的に暗褐色の斑紋が

明瞭。眼の外周は暗褐色の縁取りが残る。

**生息状況：**奄美諸島では水深7～30mのサンゴ礁浅海域から採集された。浅海域では礁斜面にある岩礁棚の穴奥、最深部(水深30m)では小さな離礁の中の穴奥に生息していた。同属のタナバタメギス類などと一緒に採集されるが本種はきわめて稀で、単独で生活していた。

**分 布：**奄美諸島(本報告)。オーストラリア東海岸域(グレートバリアリーフ)・バブアニューギニア・ソロモン諸島(ALLEN, 1987), インドネシア(RANDALL *et al.*, 1990)。

**備 考：**SPRINGER *et al.* (1977) はそれぞれ Pseudochromidae, Pseudoplesiopidae, Anisochromidae の3科の検討を行い、Pseudoplesiopidae と Anisochromidae を Pseudochromidae (メギス科) に統合した。その後 Pseudochromidae には3亜科 Pseudochrominae, Pseudoplesiopinae (= Pseudoplesiopsinae in FOWLER, 1931), Anisochrominae が設けられ、それぞれの亜科はメギス科の中の多系統群とされてきた(NELSON, 1984; PAXTON *et al.*, 1989; ESCHMEYER, 1990)。岸本(1988)は日本産のタナバタメギス属(*Pseudoplesiops*)のタナバタメギス *P. rosae* を記載するにあたって、本属の特徴をメギス科やタナバタウオ科(Plesiopidae)と比較し、本属を Pseudoplesiopidae として独立させタナバタメギス科とした。著者は岸本(1988)の見解に従い、タナバタメギス属をタナバタメギス科に含めた。

類似種と本種との関係は、眼径/体長比が大きい(10.6～12.1%)ことで同属の *P. howensis* ALLEN (7.6～9.4%; オーストラリア東海岸に分布)や *P. rosae* SCHULTZ (3.1～3.2%; 東インド洋～中部太平洋に分布)と、背鰭・臀鰭・胸鰭条数と生息深度などの比較によりインド・西部太平洋に分布する *P. annae* (WEBER) や *P. innornatus* (LUBBOCK) と区別できる。

## 引用文献

- ALLEN G.R. 1987. Descriptions of three new pseudochromid fishes of the genus *Pseudoplesiops* from Australia and surrounding regions. *Rec. West. Aust. Mus.*, **13**(2): 249–261.
- ESCHMEYER W.N. 1990. *Catalog of the genera of recent fishes*. v+697 pp., The California Academy of Science.
- FOWLER H. 1931. Fishes of the families Pseudochromidae, Lobotidae, Pempheridae, Priacanthidae, Lutjanidae, Pomadasyidae, and Teraponidae, collected by the United States Bureau of Fisheries Steamer "Albatross", chiefly in Philippine Seas and adjacent waters. *Smithson. Inst. U.S. Natn. Mus., Bull.* **100**, 11: xi+388.
- 岸本宏和 1988. タナバタメギス科. 益田 一・尼岡 邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 編. 日本産魚類大図鑑. 和文版. 第2版. 137, 図版349. 東海大学出版会.
- NELSON J.S. 1984. *Fishes of the world*, 2nd edition. xv+523 pp., A WILEY-Interscience Publ.
- PAXTON J.R., HOESE D.F., ALLEN G.R. and J.E. HANLEY 1989. *Zoological catalogue of Australia*. 7 Pisces, Pteromyzontidae to Carangidae. xii+665 pp., Australian Government Publishing Service.
- RANDALL J.E., ALLEN G.R. and STEEN R.C. 1990. *The complete diver's & fishermen's guide to fishes of the Great Barrier Reef and coral sea*. xx+507, Crawford House Press.
- SPRINGER V.G., SMITH C.L. and FRASER T. 1977. *Anisochromis strausi*, new species of protogynous hermaphroditic fish, and synonymy of Anisochromidae, Pseudoplesiopidae, and Pseudochromidae. *Smithson. Contr. Zool.*, (252): 1–15.

